

# 法華コモンズ仏教学林

2021(令和3)年度 前期講座 4月より開講

## 開設講座一覧と受講の手引き

### 《 開設講座 》

- **連続講座「仏教哲学再考—『八宗綱要』を手掛かりに②」全4回**  
原則：第1土曜日 午後4時30分～6時30分 講師：末木 文美士  
第1回 5月8日 / 第2回 6月5日 / 第3回 7月3日 / 第4回 9月11日
  
- **連続講座「歴史から考える日本仏教⑦  
日蓮をはぐくんだ房総地域の歴史と宗教を考える」全6回**  
原則：第3火曜日 午後6時30分～8時30分 講師：菊地 大樹  
第1講 4月20日(火) 房総地域の古代史  
第2講 5月18日(火) 鎌倉幕府の成立と房総地域  
第3講 6月15日(火) 日蓮の活動と房総地域  
第4講 7月20日(火) 室町戦国時代の房総地域  
第5講 8月17日(火) 房総地域の宗教文化  
第6講 9月21日(火) 地域史から考える日本宗教史
  
- **連続講座「日蓮霊跡の再認識と顕彰の歴史」全3回**  
原則：第4火曜日 午後6時30分～8時30分 講師：寺尾 英智  
第1回 4月27日 / 第2回 5月25日 / 第3回 6月22日
  
- **連続講座「『法華経』『法華文句』講義」全6回**  
原則：最終月曜日 午後6時30分～8時30分 講師：菅野 博史  
第1回 4月26日 / 第2回 5月31日 / 第3回 6月28日  
第4回 7月26日 / 第5回 8月30日 / 第6回 9月27日

※コロナ禍状況によりオンラインまた動画配信講義への延期・中止の変更も御承知のほどお願いいたします

法華コモンズ仏教学林事務局

## 「再歴史化」の知的な拠点を創りましょう！ 理事長 西山 茂

戦前期に生きた田中智学は、日蓮仏教を近代日本に「再歴史化」（蘇生）するために、「祖道復古」と「国体開頭」および「宗門革命」（宗門の維新）の旗を掲げて日蓮主義の運動を主導し、複数の教学講習会を開いて、以後の日蓮仏教諸派の僧俗に多くの影響を与えました。

今回、私たちが11年間も続いた本化ネットワーク研究会を閉じて法華コモンズ仏教学林（門流や会派を超えた法華仏教の学び舎）を起ち上げたのも、法華仏教（日蓮仏教）を現代日本に「再歴史化」するためにほかなりません。「再歴史化」の意味を深く考えるとすれば、それは普遍的な宗教真理は特殊な歴史状況のなかに繰り返し「再歴史化」されなければ人々への説得力を失ってしまう、ということでしょう。

現代社会は智学の時代と違ってより複雑化しているだけでなく、教学や遺文の研究レベルも上がり、それだけ私たちが学ばなければならないことが多くなっています。こうしたことは、門流や会派が単独で法器養成等に取り組むことを非常に難しくしているといえます。そして、このような事態も、法華コモンズ仏教学林の誕生を促す要因となっているといえるでしょう。幸い、法華コモンズ仏教学林には、多彩で優れた講師陣が揃っています。

皆さま、この際、どうか法華コモンズ仏教学林の受講生となり、門流や会派の中垣を超えて法華仏教（日蓮仏教）の共通の智を学び、ともに仏国土づくりの聖業に邁進しようではありませんか。



## 皆様のご参加をお待ちしております！

学林長 布施 義高

日蓮仏教の「再歴史化」を理念として、斯界に新たな地平を切り開いた、東洋大学名誉教授・西山茂先生主宰の本化ネットワーク研究会。また、日蓮聖人の実像や、壮大なスケールの思想の全体像を浮き彫りにすべく、日蓮門下が一丸となって編集され、平成27年全五巻の刊行完結をみた『シリーズ日蓮』（春秋社）。こうした画期的な成果を受け継ぎ、平成28年4月、西山茂先生を理事長、シリーズ日蓮刊行会会長・佐古弘文先生（同年11月御遷化）を副理事長に仰ぎ、法華コモンズ仏教学林が始動いたしました。

これから本格的に法華経や日蓮聖人を学びたい方の登竜門として、また、各教団が課題とする人材育成、次代の日蓮門下全体の隆盛へ向けての基礎作りの場として、さらには、より高みを目指す研究者の研鑽の場として、多様なニーズを満たせるよう、スタッフ一同、鋭意努力して参ります。

法華コモンズの主役は、これから参加される皆様お一人おひとりです。仏教界全体に、時代を先導し、光明を灯す力が求められている昨今、日蓮仏教（法華仏教）の立場から、世の期待に大いに応えていこうではありませんか。



## 法華コモンズ仏教学林 スタッフ紹介

### 【運営スタッフ】

- 理事長 西山 茂
- 学林長 布施義高
- 事務担当 澁澤光紀  
竹内敬雅
- 財務担当 竹内敬雅
- 総務担当 西條義昌／谷口 智
- ブログ担当 林 明彦
- ツイッター担当 武川清明
- 動画配信 竹内敬雅／神蔵寿観／林 明彦／山名隆年

### 【教学委員】

- 上杉清文
- 花野充道
- 菅野博史
- 寺尾英智

### 【講座担当】

- 講座（末木先生）武川清明／作田光照  
佐古弘純
- 講座（寺尾先生）西山明仁／佐古弘純  
波田地克利
- 講座（菊地先生）芹澤寛隆／西山明仁  
宮崎伸治
- 講座（菅野先生）稲田隆広／作田光照  
澁澤光紀

## 【 講座会場 】

福聚山 常円寺 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-12-5 寺務所 ☎03 (3371) 1797

祖師堂地階ホール（または日蓮仏教研究所の一階「学室」）

※「対面講義」を前提として開催日と会場をお知らせしていますが、コロナ禍の状況により「オンライン講義」「講座動画配信」「代講」または「延期」「中止」などの変更も予測されますので、受講者の皆さまにはご了承の程よろしくお願い致します。なお、延期・中止の場合は「受講料は返却」しております。

### 《会場への交通》

- JR線・小田急線・京王線・丸ノ内線を利用の場合  
⇒ 新宿駅西口改札より徒歩6分
- 西武新宿線を利用の場合  
⇒ 西武新宿駅正面口改札より徒歩6分
- 大江戸線を利用の場合  
⇒ 新宿西口駅「D5出口」より徒歩3分
- 丸ノ内線を利用の場合  
⇒ 西新宿駅1番出口より徒歩4分



◎受講申込は、最後の8頁に申込説明と「申込欄」がありますので、そちらをご覧ください。

—法華コモンズ仏教学林 2021年度 前期 連続講座 全4回—

## 仏教哲学再考——『八宗綱要』を手掛かりに ②

講師：末本文美士 先生

### 【講義概要】

凝然『八宗綱要』（1268）は、著者29歳の若書きであるが、750年経った今日でも、仏教教学の全般を見渡すには、本書に優るものはない。とは言え、形式的に主要概念を羅列しただけのところも多く、いわば暗記用の受験参考書のような味気ないところがある。それ故、手掛かりとしては便利であるが、それ以上の内実を求めるのは難しい。そこで、本講義では、講読という形ではなく、本書を手掛かりとしつつも、それに捉われずに、諸宗の教学を今日どのように受け止め、考えたらよいか、応用的に問題を広げ、手探りして検討していきたい。前年度の継続で、法相宗から読み始めるが、新規聴講も問題ない。下記テキストを用いるので、聴講者には毎回多少予習しておくことを求める。

★教科書：鎌田茂雄全訳注『八宗綱要』（講談社学術文庫）

### 【講師略歴】

末本文美士（すえきふみひこ）。1949年山梨県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。文学博士。現在、東京大学名誉教授、国際日本文化研究センター名誉教授、未来哲学研究所所長。専攻は仏教学、日本思想。著書に『日本仏教史 思想史としてのアプローチ』（新潮文庫）、『仏教 言葉の思想史』（岩波書店）、『日蓮入門 現世を撃つ思想』（ちくま新書）、『思想としての仏教入門』（トランスビュー）、『『碧巖録』を読む』（岩波現代文庫）、『草木成仏の思想』（サンガ）、『冥蹟の哲学1、2』（ぶねうま舎）、『日本思想史』岩波新書、他多数。

【講義日】 全4回 時間（原則・第1土曜日）：午後4時30分～6時30分

第5回 2021年 5月 8日（土）

第6回 // 6月 5日（土）

第7回 // 7月 3日（土）

第8回 // 9月11日（土）

【会場】 新宿常円寺 祖師堂 地階ホール

※対面講義が不可の場合は、オンライン講義に切替えて同じ日時にて開催する予定です

【受講料】 1期4回分 10,000円 ※当日1回の受講料は3,000円です

—法華コモンズ仏教学林 2021 年度 前期 連続講義 全6回—

連続講座 歴史から考える日本仏教⑦

## 日蓮をはぐくんだ房総地域の歴史と宗教を考える

講師：菊地 大樹 先生

### 【講義概要】

この講座は、歴史学の立場から日本仏教のさまざまな側面を継続的に考えてゆくことを目指します。これは言い換えれば、教理文献に残された思想を、それが著された時代の文脈の中で立体的にとらえなおす営みに他なりません。しかもひとつの時代は系譜となって、前後に長く連なってもいます。そこで日蓮の生きた鎌倉時代をつねにどこかで射程に入れつつも、ときには原始古代にまでさかのぼり、また私たちの生きる近現代にも立ち戻って進んでいきたいと思えます。

2021 年度前期は、主として 16 世紀までの房総地域に焦点を当てて考えていきたいと思えます。いままでの講義では、おもに政治の中心地であった京都や鎌倉において展開した宗教や日蓮の活動に焦点を当ててきました。しかし、江戸時代までの日本列島では、政治・経済・文化・宗教などあらゆる面で、地域ごとにおおきく異なる歴史の流れがあります。これらを丁寧に見ていくことで、日本の歴史や宗教にもさらに興味深い発見があるかもしれません。いうまでもなく、房総地域は日蓮の生誕地であり、また大事な活動の拠点でもありました。なぜ房総地域は日蓮を生み出したのか、またその後も多くの日蓮宗寺院が発展したのか。このような素朴な疑問から始めて、地域史の魅力を再発見していきましょう。

### 【講師略歴】

菊地大樹（きくちひろき）：1968 年東京都生まれ。東京大学大学院修士課程修了。博士（文学）。現在、東京大学史料編纂所教授。著書に『鎌倉仏教への道』（講談社、2011 年）、『日本人と山の宗教』（講談社、2020 年）他。論文に「宗派仏教論の展開過程」（佐藤文子他編『日本宗教史研究の軌跡』、吉川弘文館、2020 年）、「再考：持経者から日蓮へ」（『花野充道博士古稀記念論集』山喜房仏書林、2020 年）他。

【講義日】 全6回、時間（原則・第3火曜日）：午後 6 時 30 分～8 時 30 分

- |       |             |               |
|-------|-------------|---------------|
| 第 1 講 | 4 月 20 日（火） | 房総地域の古代史      |
| 第 2 講 | 5 月 18 日（火） | 鎌倉幕府の成立と房総地域  |
| 第 3 講 | 6 月 15 日（火） | 日蓮の活動と房総地域    |
| 第 4 講 | 7 月 20 日（火） | 室町戦国時代の房総地域   |
| 第 5 講 | 8 月 17 日（火） | 房総地域の宗教文化     |
| 第 6 講 | 9 月 21 日（火） | 地域史から考える日本宗教史 |

【会 場】 新宿常円寺 祖師堂 地階ホール

※対面講義が不可の場合は、オンライン講義に切替えて同じ日時にて開催する予定です

【受講料】 1 期分 12,000 円（全6回の講義） ※当日 1 回の受講料は 3,000 円です

—法華コモンズ仏教学林 2021 年度 前期 連続講座 全3回—

# 日蓮靈跡の再認識と顕彰の歴史

講師：寺尾 英智 先生

## 【講義概要】

日蓮の活動に関わった場所は、後世の日蓮継承者から、祖師の生涯を偲び追体験する特別な場所であると観念され、靈跡と位置付けられた。近世には、広範な寺社参詣が隆盛する。遠隔地にある靈山や有名寺社、或いは都市内の諸寺社などへと、様々な社会階層の人々が参詣した。寺社はまた名所旧跡として、信仰のためだけではなく、行楽で訪れる場所ともなっていた。この様な中で、日蓮の靈跡は、どの様な様相を示していたのであろうか。本講義では、鎌倉や房総などの日蓮靈跡を取り上げ、知識人や庶民層などに日蓮靈跡がどの様に認識されていたのか、また寺院側が靈跡をどの様に提示していたのか、靈跡の具体像の一端を明らかにしたい。

## 【講師略歴】

寺尾英智（てらお えいち）：1957年生まれ。立正大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（文学）。身延山大学教授を経て、現在、立正大学仏教学部教授。専門は日蓮教団史。著書に『日蓮聖人真蹟の形態と伝来』（雄山閣、1997年）、『小湊山史の散策』（誕生寺、2000年）、『日蓮信仰の歴史を探る』（山喜房仏書林、2016年）他、共編著に『反骨の導師 日親・日奥』（吉川弘文館、2004年）、『図説日蓮聖人と法華の至宝』第一巻曼荼羅本尊（同朋舎メディアプラン、2012年）他。

【講義日】 全3回、時間（原則・第4火曜日）：午後6時30分～8時30分

第1回 4月27日（火）

第2回 5月25日（火）

第3回 6月22日（火）

【会 場】 新宿常円寺 祖師堂 地階ホール

※対面講義が不可の場合は、オンライン講義に切替えて同じ日時にて開催する予定です

【受講料】 1期分 8,000円（全3回の講義） ※当日1回の受講料は3,000円です

—法華コモンズ仏教学林 2021 年度 前期 連続講座 6回—

# 「『法華経』『法華文句』講義」

講師 菅野 博史 先生

## 【講義概要】

今年度の前期も、『法華経』、『法華文句』（巻第三上）の講義を継続します。『法華文句』は『法華経』の随文釈義の注釈書ですので、「注釈書読みの経典知らず」にならないためには、『法華文句』を読むときには、常に『法華経』の本文を読まなければなりません。現在、『法華文句』の本文を地道に読む機会はほとんどないと思われるので、この講義では、『法華文句』の本文をすべて読んでいます。もちろん同時に『法華経』も読んでいきます。受講生のご希望がある限り、地道に続けていきたいと思っています。なお、福神研究所主催の『摩訶止観』の講義はすでに六年目に入り、巻第五下（十乗観法の破法遍の部分）が終わるところですが、現下のコロナ禍が終息するまでは長時間の密接を避けるため、昨年3月より休講しております。

★教科書 『法華文句』Ⅰ～Ⅳ（第三文明社、各冊 2,530 円）→割引価格各冊 2,000 円

★『法華経』はプリントを配布します。

## 【講師略歴】

菅野博史（かんの ひろし）。1952 年福島県生まれ。1976 年東京大学文学部印度哲学印度文学科卒業。1984 年東京大学大学院博士課程（印度哲学）単位取得退学。1994 年文学博士（東京大学）。現在創価大学文学部教授、（公財）東洋哲学研究所副所長。専門は、仏教学、中国仏教思想史。著書に『一念三千とは何か—摩訶止観正修止観章一』（第三文明社）、『法華経入門』（岩波書店）、『中国法華思想の研究』（春秋社）、『南北朝・隋代の中国仏教思想研究』『法華経—永遠の菩薩道—』（大蔵出版）、他。訳書に『法華文句・ⅠⅡⅢⅣ』（第三文明社）、『現代語訳 法華玄義』（上）（下）（東洋哲学研究所）。

【講義日】 全6回、時間（原則・最終月曜日）：午後6時30分～8時30分

第1回 4月26日

第4回 7月26日

第2回 5月31日

第5回 8月30日

第3回 6月28日

第6回 9月27日

【会場】 新宿常円寺 祖師堂 地階ホール

※対面講義が不可の場合は、オンラインまたは動画配信講義に切替えて開催する予定です

【受講料】 1期6回分 12,000 円 ※当日1日の受講料は 3,000 円です

# 受講の申込について

聴講希望の方は、この頁のコピーまたは別紙（チラシ）申込欄の各項目に御記入頂きまして、下記のファックス番号にご送信ください。申込用紙が届きましたら、「受講手続き書類」をお送りいたしますので、その手続きに従って1期分の「受講料」をお振込下さい。また「コモンズ口座の郵便振込票」をお持ちの場合は、通信欄に希望講座をお書きの上、振込票をお使いください。お振込を確認しましたら、「受講証」・「受講の手引き」そして領収書をお送りします。なお、メールで申込希望の方は、同様の内容をお書きの上、下記のアドレスに送信してお申し込み下さい。なお、受講者が極端に少ない場合は開講を見合わせますので、ご了承下さい。

メールアドレス ⇒ [hokkecommons@gmail.com](mailto:hokkecommons@gmail.com)  
FAX 番号⇒ 042-627-7227 / ブログ⇒ <https://hokke-commons.jp>

..... 申込欄 .....

《受講希望の講座の□をチェックして下さい（いくつでも結構です）》

- 「仏教哲学再考—『八宗綱要』を手掛かりに」② 講師：末木文美士
  
- 「日蓮靈跡の再認識と顕彰の歴史」 講師：寺尾 英智
  
- 「歴史から考える日本仏教⑦  
日蓮をはぐくんだ房総地域の歴史と宗教を考える」 講師：菊地 大樹
  
- 「『法華経』『法華文句』講義」 講師：菅野 博史

上記、チェックを入れた講座の受講申込みをいたします

○氏名 \_\_\_\_\_ 男・女 \_\_\_\_\_ 才 \_\_\_\_\_  
○住所 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

○電話 \_\_\_\_\_ Fax (mail) \_\_\_\_\_

2021(令和3)年 2月1日 発行 **法華コモンズ仏教学林 事務局**

192-0051 八王子市元本郷町1-1-9 善龍寺内 FAX 042-627-7227